

## 農村集落部門：高田村づくり委員会

### (1) むらづくりの主体の概要

- ・ 名称，所在地： 高田村づくり委員会，南九州市
- ・ 代 表 者： 内匠 秋夫（たくみ あきお）氏

### (2) むらづくりの主な内容

地域農業の維持・発展に向けて，集落営農によるコスト削減や労力削減を図るため農事組合法人「土里夢たかた」を設立し，当該組織を中心として，多様な主体との連携した取組や地域資源を活用した特産品開発，都市農村交流など，農業振興と一体となった共生・協働のむらづくり活動に取り組んでいる。

## 農村集落の再生

高田地区は，地域の高齢化や担い手の減少等への危機感から，地域と地域農業の将来について話し合い活動や住民アンケート調査，SWOT分析等を実施結果をもとに，意見交換及び勉強会を行い，5年・10年先の将来を見据え，地域住民の合意形成を図りながら，地域と集落営農法人が一体となった共生・協働のむらづくり活動に取り組んでいる。

## 多様な主体との連携

- ・ 地域の小学校で長年にわたる農業体験学習の支援による食育活動や小学校と連携した「収穫祭 高田かがやきフェスタ」の開催など都市農村交流活動に取り組んでいる。
- ・ 水稻や大豆などのオーナー制度に取り組み，農作業体験交流を通して地域内外から地区を支援してくれるファンづくりを進めている。
- ・ 大学等と連携し，地域の情報発信や農家の所得向上を図るため，地域農産物であるさつまいもの「あやこまち」を使用したスイーツの開発に取り組んでいる。

## 新たなむらづくりの形成，むらづくりの維持・発展

### <集落営農組織を中心としたむらづくり活動>

- ・ 地域農業の維持・発展に向けて，集落営農によるコスト削減，労力軽減を図るため集落営農法人を組織化し，「地域貢献する集落営農」の経営理念のもと，地域と一体となった活動に取り組んでいる。

### <将来を担う人材の確保・育成>

- ・ 農業のオーナー制度の参加をきっかけとした若者の移住促進や「農の雇用事業」を活用し，若者が意欲をもって働ける環境づくりに努め，むらづくりの核となる地域の担い手や将来の営農を担う人材育成に努めている。

### <地域資源の活用>

- ・ 大学等と連携して，閉山した高田石切場や空き家など埋もれていた地域資源を見直し，再生・復活させる取組の企画・運営に参画し，地域活性化につなげている。

## 今後の展望

- ・ 地元の農産物を活用した特産品開発や販売・販路拡大による所得向上を図る。
- ・ 地域資源を効果的に活用した都市農村交流に取組，地域活性化を図る

## ○ 活動状況写真



小学校と連携した収穫祭



大学と連携した加工品の開発



水稲・大豆等のオーナー制度



そばづくり農業体験



地域資源を活用した観光地整備  
(高田石切場)



農業集落法人により営農状況